助成事業実施報告書

団体名 NPO 法	人ねこ	塾		
代表者·役職名	氏名	理事長	小林洋子	

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は<u>、ホームページなどで公開する予定ですので、</u>広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

- 1、8月7日(日曜日)蕎麦打ち体験教室 蕎麦定食
- 2、8月21(日曜日)夏休み特別企画子どものみ!!(涼しげなハーバリューム作り)食事 100円・材料費無料 お弁当無料配食・フードパントリー
- 3、9月4日(日曜日)自分だけのオリジナル Tーシャツを作ろう! 材料費無料
- 4、10月1日(土曜日)炊き込みご飯無料配布30食・フートパントリー
- 5、10月2日(日曜日)ガムテープで作る小物(小4の男の子を中心に子供同士で教えあって作る)材料費無料
- 6、11 月 5 日・6 日(土・日曜日)子どもを中心にフリマ!!開催(出店者は食事無料) フードパントリー
- 7、11 月 20 日(日曜日)畑の真ん中でバーベキュー大会(無料)
- 2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度
- 1、日本の伝統料理でもある蕎麦を自分で打って食べる、蕎麦嫌いな子供が食べるようになったとの声がお母さんからありました、自分で作ることは、子供にとって、大切なことだと思いました
- 2、夏休み特別企画にて、ハーバリュームの講習を行いました。子ども達は、好きな色の花を選んで、夏に涼しげな作品ができ、夏休みの宿題にもなりました。

夏休み中 給食もなくお腹を空かせている子どもたちに、お弁当30食、米やレトルト食品なども一緒に保護司さんからも配布していただきました。

- 3、ヴォ―リス学園の美術の先生を講師に招き、障害のある子も、みんな一緒に楽しくそれぞれに個性的な Tーシャツができあがりました。布に絵を描くのは、大変なようでしたがみんな指導により上手に描くことができました。
- 4、炊き込みご飯 30 食米・レトルト食品を無料配布、保護司さんから配布していただいた子どもたちは、家の外に出てお弁当を待っているとの事です。
- 5、ルイ君(小学4年生)を中心に子ども同士で、教えあって!カラフルな色のガムテープを使って、かばんや筆立て、小物入れなどを作りました、皆で協力し合いとても和やかな雰囲気でした、大人も一緒に子どもに教えてもらい作りました、子どもたちの自主性や協調性が育まれています。
- 6、子どもフリマを開催、お家の要らない物も他のお家では宝物(ごみを減らす運動)、 しおり、アクセサリー、メモ帳など、子どもたちが手作りしたものや お家でいらない物、古着、おもちゃなど 自分で、値段を考えて販売をした。(自主性を育む)1日では片付けるのがもったいないので2日間行いました 出店者の子どもは、2日とも食事代無料にしました。お米の無料配布もしました。
- 7、少し離れた場所に畑を借りてサツマイモなどを育てています、その畑の真ん中でサツマイモを収穫しての バーベキュー大会でしたが前日から早朝までの雨で畑は、水がぬかるんで無理でしたので、 お庭を借りてバーベキュー大会になりました

お外でご飯もまた違った雰囲気で楽しめました。子どもたちは、畑を散策をして泥だらけになりましたがのびのびと楽しい1日を過ごせました。食事代は無料

- 3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度
- 1、子ども 12 人 おとな 15 人 スタッフ 10 人
- 2、子ども15人 おとな7人 スタッフ8人
- 3、子ども25人 おとな20人 スタッフ12人
- 5、子ども19人 おとな20人 スタッフ10人
- 6、子ども30人 おとな25人 スタッフ13人
- 7、子ども12人 おとな8人 スタッフ8人 のべ 子ども113人 おとな95人

子ども(3 か月の乳幼児)・障がい者・大人(102 歳のおばあさん)いろいろな年代の方が食事に来られてます。 子ども高齢者の世代間の交流、居場所作りとしての役割も果たしてきている。また、目の前が、八幡堀という好条件を生かしカヌー体験教室も開催している八幡堀を大切に思う気持ち(郷土愛)や、ごみを捨てない美化運動などの推奨ができたと思います。

日本の伝統料理である蕎麦を 琵琶湖蕎麦打ち愛好会の皆様のご協力で "蕎麦打ち教室"として子どもたちに実際に打って、そば切りもして、そばを作る体験がどこかで生かされることを願ってます。

子どもフリマ!を 開催して子どもたちの自主性を育む良い機会になった。 商売が上手な子どもがいて、意外な一面が見え、楽しい子どもフリマ!!になりました。 また次回も、開催したいと思います

4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

食材にかかる負担が多く、なかなか、ワークショップにまで、予算が取れませんでしたが、 今回は 真如苑様の大切な浄財を頂戴して、子ども達にいろいろな体験・講習を行うことができました 夏から秋にかけて、子どもたちにとっても成長する時期に本当にありがたいことです。 まことにありがとうございました、感謝いたします

各ワークショップ、は問題もなく、いろいろな形でのプロジェクトの実施ができたと思います。 食に関しても、大事なことですが、食べること以外にも、子ども達にとって、深刻な問題があることが見えてきました、精神面でのフォローなども居場所作りとして、子どもたちと気軽に話す機会が持てるように、ワークショップや遊び、など開催していきたいと思います。

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

AAGORT (2019) 125 22 年 8 日 7 日 SURBHUS MREE A MRISHE

電音変数のチンュー 二八数数 トラモロコシ之版 超子とかはちゃわ場がかし ひじき兼物 かを描す (ARIVING) おからの網携を 東部川田県市的 八番山の向外メンマ県市的







10













STREET, AND DREET SHIPMEN. A687953890340#V97670+V11











2022年6610月2日開発





